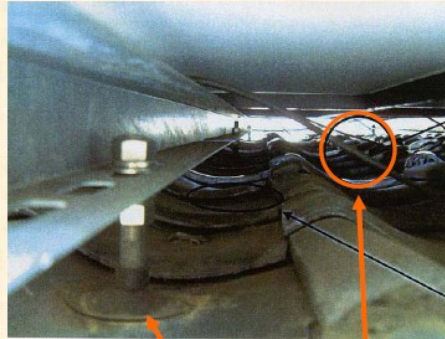
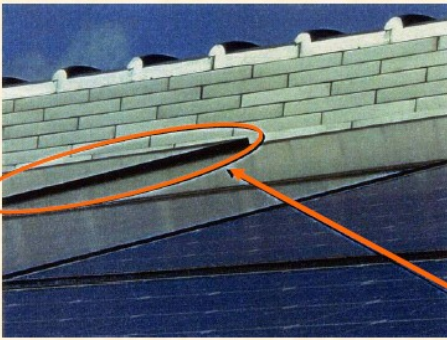


# 不適正工事の事例

## ①土葺き屋根に設置 (1997年施工)



瓦の谷部に穴をあけ  
金具を通して  
瓦の上を直接  
ケーブルが  
通っている

モジュールの不陸(凹凸)



・野地板にビスで固定。  
(野地板は9mm厚のザラ板)

雨漏りの直接の原因は瓦のズレ。  
しかし、薄い野地板にビスを多数  
打っているため非常に危うい工事。

使用しているビスは鉄鋼用、支持金具  
の引き抜き強度も不十分と思われる。



・雨漏りの跡

## ②陸屋根でのトラブル (2002年施工)

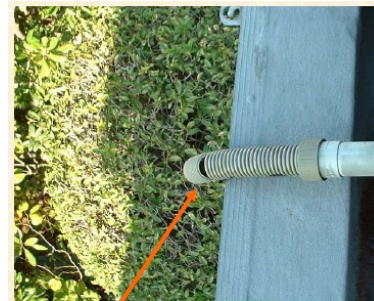


・防水層を切って基礎を設置



・勾配の関係で、常時水溜りが  
出来ている。

設置後すぐに雨漏りが発生。  
業者がシール材の塗布を行い、現在のところ雨漏りは納まっている。



・電線管に亀裂  
屋内用の材料を屋外に使ったため  
劣化したと思われる。



・水滴  
電線管を伝って水が進入した  
と思われる。

(出典: 公共産業PV設計支援と、住宅PVの施工品質セミナー(2008年7月30日ビッグサイト))